



OGBS
売場最前線
#081

Vanfu 飯田橋店【株帆風】(東京都新宿区)

「印刷業よりもサービス業であれ」 まるでホテルな総合OGBS

「これが印刷ショップ?」

Vanfu(バンフ)飯田橋店(東京都新宿区)を訪れた記者は、入口のドアを開けた瞬間、思わず息を飲んだ。

約38坪の広い店内は、白を基調とした高級感のある内装。右手の受付カウンターには制服を着たスタッフが接客を、左手の壁面什器にはウエアやキャップなどの印刷サンプルがバランスよく飾られ、整然としている。店奥のフリースペースには大きなラウンド型のソファが置かれ、お客が本を読んだり打ち合わせをしている。ゆったりとした心地よい空間だ。

印刷ショップと聞くと、名刺やハガキのサンプルが飾られ、店の奥でオフセット機が唸りを上げる……というイメージだが、バンフ飯田橋店にはそういった要素が見当たらない。例えるならホテルのロビーかお洒落なインテリアショップのように見える。

**名入れに関わるもの
全てを扱う**

店の運営元は株帆風(本社・東京都新宿区、代表取締役・犬養新嗣。1980年に創業し、商業印刷物をメインに企画からデザインまでおこなう印刷会社として知られる。現在はネット印刷通販ショップや東京都内を中心に全国8店舗を展開。昨年度の年商は114億6400万円。グループ会社を含めると148億1500万円にのぼる。

バンフ飯田橋店は1991年に同社ショップ部門の基幹店としてオープン。2014年に現店舗へリニューアルした。



- ① 帆風が運営する「Vanfu 飯田橋店」。白の仕りに、様々な印刷サンプルが整然と並んでいる。店内にはプリンターなどの製造設備を置かず、都内の「竹橋プリンティングセンター」で一括生産している。
- ② 名刺印刷サービスの「セレクトィエ」。紙やサイズ、レイアウト、書体を選ぶだけで、簡単に自分好みの活版名刺を製作できる。セミオーダーで高級感のある仕上がり。
- ③ 夏場に注文が集中するウエアプリントは、シルク印刷、転写、インクジェットなどの製法に対応している。
- ④ 1個から作製できるオリジナルキャップ。写真は立体的に文字を表現した「3D刺繍」によるもの。インバウト抜群。
- ⑤ 飯田橋店には、印刷にまつわる悩みに応えるコンシェルジュが常駐している。初めてのお客も安心できるだろう。
- ⑥ 店内奥には自由に休憩できるフリースペースを設置。デザイン関連の書籍も置いている(⑦)ので、アイデアづくりの参考になりそう。キッズスペースも完備(⑧)。
- ⑦ Vanfu 飯田橋店は本社ビル1階に立地。24時間、土日祝日も営業している(年末年始を除く)。急ぎ仕事の駆け込み寺として利用する常連客が多い。

度の高い接客を心掛けている。飯田橋店の

リニューアルで 一般消費者の注文が増加

同店には「フロントアドバイザー」と呼ばれるスタッフが13名在籍している。彼らの中には「DTPエキスパート」(※1)の資格を取得しているスタッフも多く、印刷関連の知識や経験が豊富な、言わば「印刷のプロフェッショナル」。デザインから最適な印刷方法までトータルで提案し、満足

それまで飯田橋店は、印画紙やフィルムを出すなど出力センター的な役割を担っていたが、印刷店のイメージ脱却を図るべく、ホテルのような店構えに一新。加えて印刷紙製品のイメージを変えるため、扱う多くの商品の展示を開始。また、サービスの主軸は名刺、ハガキ、カタログ、ポスターなどの商業印刷物だが、ウエアプリントやトートバッグ、うちわ、表札、マグカップ、タンブラー、キーホルダー、オリジナルランプ、住所印、各種ノベルティ……など、名入れに関わるもの全般をラインナップしている。

近年はデジタル全盛で紙離れが進み、印刷市場は年々縮小の一途を辿っている。そうした中、帆風は時代の流れを察知し、新しいサービスや設備を採り入れながら業態を進化。お客の想いをカタチにするため、印刷業にこだわらない店づくりを掲げる。

「会社のお使いとして来店したお客様が個人的に欲しい」と、プライベート用に注文するケースが増えています。先日母の日のプレゼント用に名入れグッズの製作依頼がありました(著杉主任)。

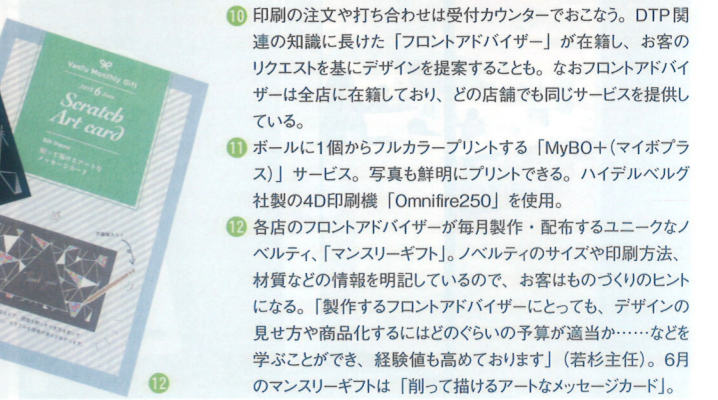
同店の人気商品は、チラシや名刺といった印刷物やTシャツなど。この時期はシーズン商品として名入れうちわも売れている。形状は指穴付きの丸型紙うちわが人気

店舗統括をしている若杉遥子主任は、「例えば『2つ折の会社パンフレットを作りたいけど、デザインのアイデアが浮かばない』など、ノープランのまま相談に来られるお客様も少なくありません。そこでフロントアドバイザーが、お客様に寄り添って予算やイメージをすり合わせながら一緒に商品を作っていくこともあります。案件によってはデザイン候補を数パターンご提案することもあります。」

※1: コンピューターを使って出版物などの紙媒体を編集するDTP (Desktop publishing) の技術と知識を認定する資格。

多くの印刷物作りの経験があるからこそできるフロントアドバイザーの親身な対応と提案力は、お客からも信頼を得ており、リピーターも多い。また、店頭のサンプルは、フロント自らが考え、作製している商材もある。

リニューアル後、飯田橋店の客層に変化が生まれた。一般消費者の受注が増加したのだ。同店の周辺は、出版社や印刷会社などが林立するビジネス街で、法人客が主な客層だったが、



- 10 印刷の注文や打ち合わせは受付カウンターでおこなう。DTP関連の知識に長けた「フロントアドバイザー」が在籍し、お客様のリクエストを基にデザインを提案することも。なおフロントアドバイザーは全店に在籍しており、どの店舗でも同じサービスを提供している。
- 11 ボールに1個からフルカラープリントする「MyBO+(マイボプラス)」サービス。写真も鮮明にプリントできる。ハイデルベルグ社製の4D印刷機「OmniFire250」を使用。
- 12 各店のフロントアドバイザーが毎月製作・配布するユニークなノベルティ、「マンスリーギフト」。ノベルティのサイズや印刷方法、材質などの情報を明記しているので、お客はものづくりのヒントになる。「製作するフロントアドバイザーにとっても、デザインの見せ方や商品化するにはどのぐらいの予算が適当か……」などを学ぶことができ、経験値も高めています(若杉主任)。6月のマンスリーギフトは「削って描けるアートなメッセージカード」。

で、最近ではフロントメーカーのイベントグッズやマラソン大会用に作製。フロントメーカーのノベルティのうちには52種類のフロントがそれぞれ入ったデザインで各100枚作製した。

こうした多品種小ロットのグッズ作りはパンフの得意分野。ちなみに商品は、ほぼ全て、都内の「竹橋プリンティングセンター」で生産している。2100坪の広大な印刷工場で、オフセット印刷機をはじめ、大型UVプリンター、レーザー加工機、カットングプロッター、シルク印刷設備、刺繍機などのマシンを設置。製造から配送まで一括でおこなっている。

1個からボールにプリントするサービス

帆風は昨年从今年にかけて、他の5店舗をリニューアルした。「一般消費者にも印刷を身近に感じてもらえる店づくり」を展開するため、オーダーグッズを扱う「コンセプトショップ」として新たに生まれ変わった。

一般消費者をターゲットにしたサービスも始めた。今年2月からは「MyBO+(マイボプラス)」をスタート。これは、サッカーやバスケットのボールに1個からフルカラープリントするというもの。ロゴや写真などを曲面に入れることができる。お客様の評判も上々で、「ハッピーバースデー」をボールに名入れするなど、記念品としての需要があるようだ。

同社は今後の目標について、

「パンフ」の名前を広めるためのアピールを続けていきたい。飯田橋店は、基幹店としてお客様の要望を柔軟に対応できる店舗により進化し、支店は、お客様により印刷を身近に感じられる店舗として、イベントなどにも積極的に参加し、お客様との接点を増やしていきたいと考えております」。

同社が展開するショップスタイルが印刷業界に新風を吹き込むか。今後の動きに注目したい。



住所：〒162-0822
東京都新宿区下宮比町2-29
飯田橋NKビル1F
TEL：03-5229-8229
URL：https://www.vanfu.co.jp
*JR「飯田橋」東口、徒歩約3分